

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24015

学校名：幌東小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 20mシャトルラン、握力、上体起こし、 長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅跳び	○前回の記録より下回っている種目 ソフトボール投げ	休み時間に活発に運動をする児童の割合が高くなり、多くの項目で昨年度を上回った。しかし、全国平均を上回ったのは、左記下線の付いた3種目のみである。特に瞬発力や敏捷性に課題がある。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、20mシャトルラン、 50m走	○前回の記録より下回っている種目 長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、 ソフトボール投げ	男子に比べ休み時間等に体を動かす遊びをしている割合の少ない女子は、全国平均を上回った項目が左記下線の付いた2種目のみである。全体的に運動の時間を増やすことが課題である。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	○「運動やスポーツをすることが好き」と回答する子どもの割合 R6 男子 100.0% 女子 88.4% R7 男子 90.7% 女子 78.3% ○「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R6 男子 100.0% 女子 95.3% R7 男子 93.0% 女子 78.4%	○1週間の総運動時間において、420分以上（1日平均60分以上）と回答している割合 R6 男子 64.0% 女子 33.3% R7 男子 38.1% 女子 22.2%	運動が好き、体育の授業が楽しいと感じる児童の割合が少なくなっている。質問調査の回答を基に、日常の授業において、運動のコツやポイントを分かりやすく伝え、多くの児童が達成感を味わえるように授業改善をしていくことで、運動好きを増やしていくことが必要である。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<p>○「課題探究的な学習」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが主体的に運動に取り組むためのルールを決めたり、体力づくりを取り入れたりする場を設定する。 <p>○子どもが運動の楽しさに触れる学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業における運動時間を確保することで、子どもたち一人一人がしっかりと運動に取り組める場を充実させる。 <p>○ICTを活用した学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の運動の様子を動画で記録し、確認ことで、目標と実際のズレを可視化し、より具体的な目標をもって取り組めるようにする。 	<p>○運動の機会の充実を図る環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 外遊びが難しい12月に『跳び箱週間』を設け、体育館に跳び箱を設置することで、休み時間にも練習ができるような環境を作る。 <p>○三間（仲間、時間、空間）の創出により運動機会の充実を図る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドの遊具などを活用しながら、運動が苦手な児童も楽しみながら体を動かすことのできる活動を工夫する。 「学びを発表する会」において体育の成果を演目に入れるなど、具体的な目標をもてる場の工夫をし、運動への意欲を高める。 	<p>○各教科等の内容を関連付けた健康教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 養護教諭が6年間を通して「いのちの学習」を行うことで、子どもたちの「いのち」に対する意識を育む。 「みんなく」の学習の中で、自分の睡眠を見直し、睡眠の大切さを実感できるようにする。 栄養教諭による「食指導」により、栄養に関する知識・理解を高める。また、「北海道の食材を味わおう」「一日に必要な野菜の量を知ろう」など給食を通して、健康な体づくりのために実践できる力を育てる。 <p>○外部講師の活用など家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 助産師による「いのちの学習」（5年生） 全国歯みがき大会への参加（4年生）
--------	--	---	---

家庭・地域との連携・協働

- 学校独自の児童アンケートや保護者学校評価等の活用
- 5年生対象の全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全学年実施の体力テストの結果を活用
- 学校保健委員会・学校関係者評価委員会等の活用